



No.137
平成24年6月11日

いえそん

議会広報



▲第20回伊江島一周マラソン大会3キロの部で力走する参加者

- 平成24年第1回3月定例会 2
- 予算審査特別委員会質疑 4
- 討論 5
- 一般質問 6~10
- 議決の結果 11

いえそん No.137
議会広報

発行／伊江村議会
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38
TEL:0980-49-2924
編集・印刷／(有)サンエス
TEL:098-889-7421

議会の活動

平成24年3月

2日：議会運営委員会、議員全員協議会
議会広報調査特別委員会
7日～15日：第1回定期議会
10日：伊江中卒業式（議員）
22日：伊江・西小卒業式（校区議員）
28日：第2回臨時議会
29日：北部振興会第2回総会（議長）
北部広域市町村圏事務組合議会第39回定期会（議長）
30日：退職者辞令交付式（議長）

▲第20回伊江島一周マラソン大会

平成24年4月

1日：伊江村軍用地等地主会総会（議長）
2日：村辞令交付式 村青年会総会（議長）
5日：名桜大学入学式、議長会訪問（議長）
9日：イージマ郷友会主催北部地区高校進入学生激励会（副議長）
14日：第20回伊江島一周マラソン大会（議員）
15日：アーニパイル慰靈祭（議長）
17日：伊江村議会議員・職員研修会（議員）
18日：新任教職員歓迎会（議員）
21日：芳魂之塔平和祈願祭（議員）、
22日：ゆり祭りオーブニング（議員）
26日：婦人会総会（議長）
27日：沖縄振興拡大会議（議長）

▲ゆり祭り

平成24年5月

8日：町村議会議員・職員研修会（浦添市）（議員）
9日：北海道恵庭市市議会来村（議長・副議長）
10日：本部町流通センター落成式・祝賀会（議長）
11日：姫路市市議会来村（議長・副議長）子牛共進会（議員）
13日：真謝地区集会施設落成式（議員）
15日：沖縄県復帰40周年記念式典（議長）
17日：北部議長会理事会・総会（議長）
19日：本部地区防犯協会総会（伊江村開催）（議長）
22日：体育協会総会（議長）
伊江村人材育成会理事会及び評議員会（議員）
23日：商工会総会（議長）
24日：社協評議員会（議長）
28日：第37回町村議会議長・副議長研修全国会（議長・副議長）
29日：伊江村学力向上推進大会（議員）
北部・中部市町村会主催合同勉強会（内田総務常任委員長）

▲子牛共進会

平成24年6月

1日：議会運営委員会、議員全員協議会
議会広報調査特別委員会
7日～15日：第1回定期議会
10日：伊江中卒業式（議員）
22日：伊江・西小卒業式（校区議員）
28日：第2回臨時議会
29日：北部振興会第2回総会（議長）
北部広域市町村圏事務組合議会第39回定期会（議長）
30日：退職者辞令交付式（議長）

▲真謝集落センター落成式

人事異動のお知らせ

平成24年4月2日付（）は前職

議会事務局

局長／島田 勝雄（総務課長）
定年退職／照屋 善市（議会事務局長）

平成24年3月31日付けで退職された
前議会事務局長の照屋善市さん。長い間ご苦労様でした。

平成24年 第1回3月定例会

平成24年度 予算総額 65億9,865万1千円 (6会計)を可決

一般会計は59億円 前年度比1億7千9百万の減額予算

【平成24年第1回 3月定例会】

平成24年第1回(3月)定例会を、3月7日から15日までの9日間の会期で開きました。

本定例会では、平成24度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成23年度補正予算など19件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(審議結果の概要是11ページをご覧ください。)

また、開会初日には村長の施政方針が表明されたほか、一般質問が行われ、5人の議員が村の考えを問いただしました。

平成24年度 一般会計 歳入	
自主財源(村が独自に集める事が出来る財源)	
自 主 財 源	村民の皆さんのが村に納める税金
分担金及び負担金	村が行う事業により利益を受ける人から対価として徴収するお金
使用料及び手数料	各種施設の使用料・住民票等の交付手数料として支払ってもらうお金
財 産 収 入	村が所有する土地建物の貸付や売り払いによる収入
寄 附 金	個人や団体などから譲り受けるお金
繰 入 金	基金(積立金)の取崩しなどにより繰り入れて使うお金
繰 越 金	村の前年度の余剰金を翌年度に繰越して使うお金
諸 収 入	他の科目に属さないお金(村税の延滞金、村預金利子、雑入等)
依存財源(国・県からの交付金や借金による財源)	
地 方 譲 与 税	国が集めた自動車税や地方道路譲与税の一部から、村に配分されるお金
地 方 消 費 税 付 金	国が集めた地方消費税の一部から、村に配分されるお金
各 種 交 付 金	国の政策により、村の一般財源の不足分を補うため、国から交付されるお金
地 方 交 付 金	自治体が一定水準の行政運営ができるよう、財政状況に応じて国から交付されるお金
国 庫 支 出 金	事業など特定の目的の財源のため、国から交付されるお金
県 支 出 金	事業など特定の目的の財源のため、県から交付されるお金
村 債	村が特定の目的のため、国や金融機関から借りるお金

平成24年度 一般会計 歳出

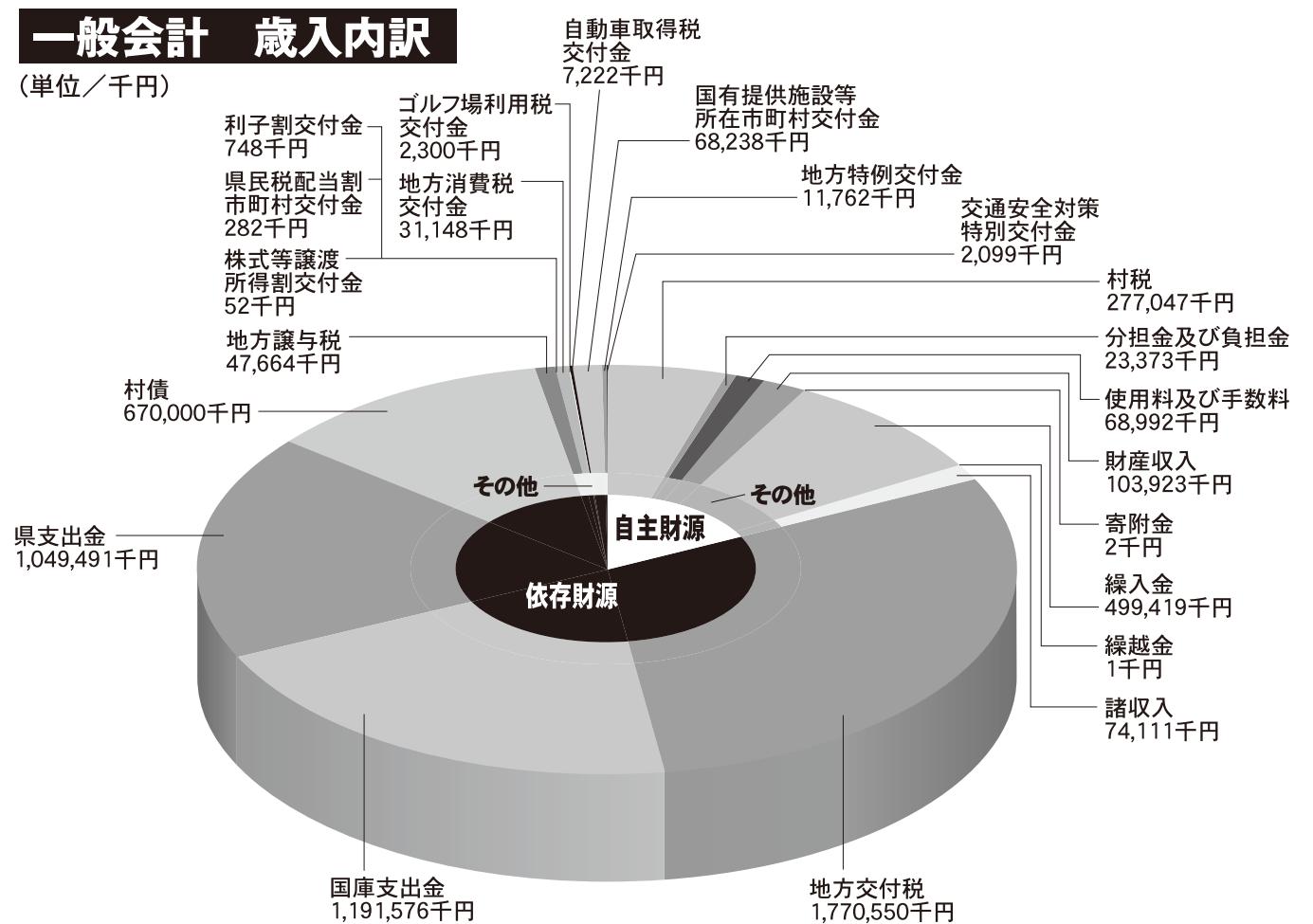
議 会 費	議員の報酬や議会の運営に使われるお金
総 務 費	村政全般の管理に使われるお金
民 生 費	児童福祉・老人福祉・障がい者福祉の運営に使われるお金
衛 生 費	各種保険事業・生活環境の整備、ゴミ処理に使われるお金
労 働 費	労働者への支援など雇用・失業対策に使われるお金
農 林 水 産 業 費	農林水産業の振興に使われるお金
商 工 費	商工業・産業・観光の振興や特産品開発等に使われるお金
土 木 費	道路・村営住宅・公園など公共施設の整備や維持管理に使われるお金
消 防 費	火災や地震などの災害に備えるお金
教 育 費	教育文化やスポーツの振興に使われるお金
災 害 復 旧 費	台風や大雨等で被害を受けた所の現状復旧に使われるお金
公 債 費	村が各種事業を行うために国などから借りたお金の返済金
諸 支 出 金	他の支出科目に該当しない経費
予 備 費	予測できない歳出予算の不足を補うためのお金

どうぞ
傍聴席へ



傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください

TEL 0980-49-2924 (直通)



平成24年度 歳出

(単位／千円)
(割合／%)

費目	額(千円)	割合(%)
議会費	73,345千円	(1.2%)
総務費	528,434千円	(9.0%)
民生費	783,590千円	(13.3%)
衛生費	214,495千円	(3.6%)
労働費	8千円	(0.0%)
農林水産業費	2,037,816千円	(34.5%)
商工費	139,428千円	(2.4%)
土木費	606,847千円	(10.3%)
消防費	55,181千円	(0.9%)
教育費	1,082,115千円	(18.3%)
災害復旧費	3,502千円	(0.1%)
公債費	323,797千円	(5.5%)
諸支出金	1,442千円	(0.0 %)
予備費	5,900千円	(0.9%)

合計 5,900,000千円

贊成討論

友寄 祐吉 議員 内田 竹保 議員

健康で平和な豊かな活力ある村づくり

甚大な被害を受けた東日本大震災から1年が経過した。しかし、いまだ3・155名の方々が行方不明である。また、瓦礫処理や原発問題が一向に解決できない状況にある。

このようない中、本村においては防災計画の見直しが行われており、村民の地震や津波に対する認識を改め、人的被害を最小限に食い止めるべく、新年度に配付される防災マップに沿った行動が必要とされる。

長年懸案であった人工透析の医療開設に向け、施設整備実施設計業務が予算化され、

しつかり吟味して議会に提案して

本予算是5・9億円で前年度比2・94%の減額だが賛成する理由として、人工透析の施設整備事業と、高校通学支援補助事業がある。人工透析については2・943万円の計上、そして高校生就学支援についても2・256万円、合計5・199万円。5・9億円の中の1%の金額だが、これまでの予算案と比べると、将来の島の子供たちの教育のための予算、そしてまた人工透析についても、平成23年度に検討委員会が設置され、そして今年度はこの整備事業に対する公有財産の購入費は費目存置だが、2・943万円の計上となつた。この透析

りに邁進する事に期待する
スタートする。一刻も早い施設整備や医療体制の確立が急務である。これまで本島での治療を余儀なくされた患者の皆さん、経済的、精神的負担が軽減される事を願う。
農業面においては昨年、葉たばこや花卉は台風や震災の影響で多大な被害を受けた黒糖工場が完成し稼働したが生産量は予想を大きく下回っている。地下ダムが完成すれば水不足は解消され、複合経営形態である本村に於ては新たなる作物選定は急速にすべきだと考える。施政方針で主要施

らいたい

治療については、莫大な金がいる、あるいは相当の水がいる、これを引き受ける医者がいない等、否定的な見解しか出てこなかつた。しかし何とか全議員で長崎の離島の施設を所管事務調査で行つたり、南風原のクリニックに村長も伴い施設を見てきた。去年、予算協議会設置がされた時点で、予算が少しでもつけば夢は実現すると思つていた。公有財産の購入費について、場所は村長の答弁では4ヵ所ほど候補はあるが、まだ確定はしていないとのことだが、どこの土地にしようと村民みんなが協力していくことは間違いないと思う。また、懸念され

策12項目の方針が示された。村長のモツト一である健康で平和な豊かな活力ある村づくりに邁進される事を期待する。

私たち議員は村民の代表であり、村民の声を代弁する責務がある。議員個々の意見が村政に反映されない事案もあるが、諦めることなく粘り強い姿勢で今後の議会活動をしようではないか。

本予算案は伊江村のさらなる発展が期待できるものと確信し、賛成討論とする。

内田 竹保 議員

村民に負担をかけない利用しやすいシステムの構築を要望する

新造船フェリー「いえしま」が就航し、パリアフリーア化や近代的設備が整い心地よい船旅が期待される。建造にあたっては特定地域特別対策事業・伊江村旧軍飛行場用地問題解決地主会からの団体補償金が充当されており、本村船舶事業の歴史に残る英断に感謝申し上げる。

また、沖縄振興一括交付金（離島住民交通コスト負担軽減事業・仮称）の活用により往復運賃が大幅に減額され、離島である村民にとっては負担軽減が図られる事は画期的である。しかしながら、事務手続きに難があり、当局と議会側との論議がかみ合わない部分が多くあった。村民に負担をかけない利用しやすいシステムの構築を早急に取りまとめる事を要望するものである。

民泊を含めた修学旅行生が増え、今後とも安定した事業経営が見込まれることから本案に賛成し、討論とする。

反對討論

名嘉 實 議員

分遣隊移設特別助成金の費目存置
本予算額は、前年度比 1 億 7,900 万円減の 5,9 億円となつてゐる。
総務費では、区民総会で米軍施設移転計画に断固反対を表明してゐる真謝区への助成金として、分遣隊移設特別助成金が費目存置されている。今後、75 万円を村長の任期中予算化していきたいとの説明だつた。米軍に土地の強制接收に反対し、苦しい戦いを続けた歴史を持つ真謝区民を侮辱するものと言ふわれてもしかたのない対応だと考える。現行の計画を強行しようとする分遣隊移設特別助成金の費目存置の削除を求める。農林水産業費、複合作物振興費では 1,238 万円計上されているが、昨年の台風被害を経験した後の予算としては不十分ではないか。土木費では、東保育所改築工事の予算が計上された。他市町村では、保育所の民営化が進められてゐるものと、村営の保育所を建設すること評議する。保育所の建設と同時に、人の命を

預かり保育士として働いている臨時職員の待遇改善を求める。長い間、強い要望があつた人工透析施設建設に向けた事業費も予算化された。早期の完成が望まれる。(住宅リフロー・支援事業の調査費が計上されたが、地域経済活性化対策として雇用を促進していくうえでも大きな成果を上げている同事業を早めに予算化することを望む。教育費では、高校生に対する助成金が1人・年間12万円助成する予算が計上されている。本島並の保護者負担には程遠い金額だが、一步前進と考える。

本予算(案)にも、自衛隊の募集業務費が計上されている。日本共産党は自衛隊が憲法違反の軍隊であり、将来的には非同盟・中立の国際的な流れに参加し、憲法9条の完全実施についての国民的合意の成熟を見定めながら、自衛隊の解消を取り組むという展望をもつてている。国際紛争は武力ではなく、外交によつて解決すべき課題だと考えているが、急迫不

正の主権侵害、大規模災害など必要に迫られた場合には、現に存在している自衛隊を国民の安全のために効率的に活用するという方針であるが、現在の自衛隊は米軍の補完部隊として行動するのが主な任務であり、そのための日米合同演習も強化されている。防衛省は、新防衛大綱・中期防衛力整備計画に基づき、南西地域の態勢強化のため、島嶼部に対する攻撃への対応として、与那国に陸・空自衛隊の配備と、航空自衛隊那覇基地に三沢基地所属の早期警戒機E-2Cを展開させ、同基地の戦闘部隊を2個飛行隊化する計画である。これは、中国を軍事力包囲網で囲み込むアメリカの戦略に巻き込むものと言われている。アメリカと共に世界中に展開しようとする自衛隊の強化に反対し、本予算案から自衛官募集業務委託金の削除を求める反対討論とする。

船舶運航事業会計予算

船舶運航事業会計予算

船舶運航事業会計予算

予算審査特別委員会質疑

平成24年度各会計の当初予算案は、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、執行部に関係資料の提出や説明を求めるなど、集中的に審査を行いました。その結果、付託された6議案は、すべて原案のとおり可決すべきものと決定されました。

Digitized by srujanika@gmail.com

答 ゴルフ場利用交付税交付金に関して、
資本金が8,000万円だった
のが、4,000万円余りになっ
ているが、その運用方法を報告
していただきたい。

答 衛生費補助金の自殺対策緊急強
化補助金について、去年もそ
ういう対策という補助金があった。
この事業でどうということを啓蒙
されたか伺いたい。

答 かたさ、必要性を相当感しているが、平成24年度でこの事業が終わるのかお聞きしたい。

問　の文第4行にて、生次郎は語りたい。

資本金から正味財産という部分があり、そこから割り引いていく方式があり、赤字部分により出資金が減になつたという部分がある。出資の運用についても2行に投資信託していたが、利率の部分もあり、運用収益が減つた部分もある。

年間の自殺者が3万人を超えている現状がある。そういう中で、1点目に平成22年度からゲートキーパー講習会というのを開催している。2点目に、その自殺に至る経緯の中で、アルコールの飲酒に係る部分大きいということが指摘されており、それに基づいてのアルコール講習会を行っている。

問	踏まえ、生産者、J.A.、和牛改良組合、各農家の声も聞きながらもいろんな方面から評議して次年度に備えたいと思う。
答	ウリミバ工防除に対し、ウリミバ工に関しては発見されていないということだったが、そのほかのミバ工関係はどうか。

※クラウド化とは、ネットワークを介した共同利用できるシステムで、セキュリティを高めさらにコスト削減にもつながるシステムのこと

村政の3月定例会一般質問

ここを問う!

いそん

子育て支援 (学校給食・医療費助成)の実施について

島袋 義範 議員

村長／県の動向、あるいは市町村の方向付け等十分勘案しながら前向きに対処していきたい



問 近年の全国的な不景気、さらには東日本大震災や台風等による農業生産物へのダメージにより村内の経済は低迷。子育て世代の家庭経済を直撃し、子育てのための出費、特に給食費や医療費等の出費に大変な苦労をしている。

他市町村においても、同様な状況から各自治体においても主な支援策として、学校教育期間中の給食費の一部助成や無料化、または医療費の義務教育終了までの助成拡大等がある。県においても、平成24年度から医療費助成事業をこれまでの就学前まで拡大するとし、実施する市町村については、半額を助成することになったようである。その機会に給

食費についても助成し、医療費助成も義務教育終了まで入院も通院も拡大して支援すべきだと思う。この二つの支援策について、県内市町村の実施状況はどうなっているか。村当局はどの程度把握しているか。

答 給食費については41市町村のうち、4市町村で給食費の支援があり、内容は兄弟がいる場合の3人目以降の無料化を実施している市町村が3市町村、完全無料化が1町となっている。給食費は中学校、小学校、幼稚園で合計年間1,894万9,000円となっており、これをすべて無料化することは、保護者負担の原則や村の財政状況を考えたとき、非常に厳しい面があ

る。しかし、次世代を担う若い人たちを支援する面からも、保護者の負担原則を堅持しつつ、兄弟がいる場合3人目以降の無料化実施について、村の財政を見極めながら今後検討していく。

医療費助成について、県の対象年齢基準と村とを比較すると、入院に象としている。通院は県が3歳まで、村は就学前までを対象とし、県の基準を超えた助成を行っている。今回県は母子保健、子育て支援の観点から、県に通院は現行のままで、入院を中学卒業までとする制度拡充を24年10月より実施する。今回の県の制度拡充に伴い、村としても、母子保健の重り性、子育て支援の観点から、県に準じて実施していきたい。

問 給食費の完全無料化は1町だということがだが、子育て支援の重要性からそういう時代になるだろうと。本村も3子目を無料にするという答弁だが、完全無料化にするための努力をしていただきたい。

答 この件については、県の動向、あるいは市町村の方向付け等十分勘案しながら前向きに対処していきたい。そのことを十分把握しながら、今後の子育て支援策について実施を検討していきたい。

問 本村の軍雇用員の採用の件でお伺いしたい。戦後、村民の採用に当たっても、村民の子弟を採用していただきたい。そのためには、英語力等の学習に力を入れなければならぬのは当然のことだが、近年景気の悪化等により、村の子弟たちも学業は終了したものの就職がらなくなつた。そのことから軍雇用員の採用に当たつても、村民の子弟を採用していただきたい。

答 これまで、駐留軍等労働者の募集業務等は、機関委任事務として県知事が実施してきたが、平成14年4月から独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構に移行され、募集業務も同機構が行っている。採用条件には、職種により専門知識・技能・英語力等が求められることから、今後はスキルアップに努め、一人でも多くの村出身者の若者が使用されることを期待したい。地元優先の採用が図ら

れるよう、離島の基地所在村の雇用環境の実情を関係機関に申し入れていきたい。

問 軍雇用の職員が村出身者であれば、意思疎通や村当局との情報交換もしやすいのではない。以前の議会でも質疑の中に出たが、多くの村民の皆さんが関心を持った。そこで、村長も防衛局に対しても要請していると思うが、何度も村に来られるよう再度要請をしていただきたい。

答 軍雇用の採用については、現在大方が島の人達で一生懸命働いているという実情である。これまでもずっと防衛局、あるいは関係駐留軍の施設でも話を申し上げているところである。島の人たちの働く場が1人でも多くなるよう努力をしているつもりだが、これまで退職した方が自分の息子に引き継ぐというようなこと等も若干あった。今は沖縄県全域を焦点とした採用の方をしているという報告も受けているが、島の事情、島の35%が提供されるが、島の問題ではなく、島の施設ということからすれば、今後もそういうことをこれからすれば、今後もそういったことを勘案してやつてもいいといふことを日頃から強く申し上げてもらいたいと日頃から強く申し上げてもらいたいところである。

城山のジオパーク指定に向けての取り組みについて

村長／我々の考えていることと一致できるよう方向にできれば前向きに対処していきたい

渡久地 政雄 議員

問

地球科学的に見て貴重な地質や地形を持つ自然公園（ジオパーク）指定に向け、本部町・名護市に対する申請を行い将来的には、世界ジオパーク申請も視野に入れるとのことである。ジオパークは「保全」と「活用」を目指している。今回の本部町・

名護市等のジオパーク指定申請の取り組みは、本部半島全体を指定対象に位置付けていますから、伊江村の城山を、本部町・名護市と連携し推進協議会に加盟し、取り組みをしてはどうか。

役場のホームページには、「城山は島よりも古く、「オフスクレープ現象」と言われ、古い岩盤が新しい岩盤に潜り込む中で、一部がはがれて新しい岩盤の上に乗る現象によつて形づくられた。この現象は世界遺産が「保全」を基本理念に据えているのに対し、ジオパークは「保全」と「活用」をを目指している。今回の本部町・

問

本部半島ジオパーク推進協議会への加入について、城山は本村の貴重な観光資源であり、日本ジオパークや世界ジオパーク推進協議会に登録が可能であれば、観光の振興に大きな期待ができるものだと思う。反面、協議会への加入について調整のうえ、前向きに検討したい。

答

なる観光資源の目玉として、ジオパーク指定の取り組みを早急に調査研究すべきだと思うが。

問

日本各地で地域おこし協議会への加入について、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要があれば村内でも協議会を立ち上げていいよつな取り組みを検討していきたい。

答

今回のジオパークの加入については、少しばかりの入については、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要があれば村内でも協議会を立ち上げていいよつな取り組みを検討していきたい。

問

日本各地で地域おこし協議会への加入について、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要があれば村内でも協議会を立ち上げていいよつな取り組みを検討していきたい。

答

ぜひそうしていただきたいたい。隣の本部町を中心に行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要な取り組みを検討していきたい。

問

日本各地で地域おこし協議会への加入について、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要があれば村内でも協議会を立ち上げていいよつな取り組みを検討していきたい。

答

ぜひそうしていただきたいたい。隣の本部町を中心に行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要な取り組みを検討していきたい。

問

日本各地で地域おこし協議会への加入について、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要な取り組みを検討していきたい。

答

ぜひそうしていただきたいたい。隣の本部町を中心に行き、ジオパークについてどういったものか勉強させていたい。必要な取り組みを検討していきたい。

問

日本各地で地域おこし協議会への加入について、少しばかり調査をし、議会が終わり次第、正式に本部町のほうへ行き、

村政の3月定例会一般質問

ここを問う！

仲宗根 清夫 議員



伊江村の防空壕、洞窟内の放置人骨や骨壺の供養について

福祉保健課長／村民からの情報収集に努め、村遺族会や関係者と協議を行いながら進めていきたい

問 農業振興地域以外の農地に住宅や売店を建設する場合、「農地」から「宅地」への転用許可を役場へ申請し、許可が下りたら建設出来る手順になつていて。一方、農業振興地域内の農地に住宅や売店を建設する場合は、宅地転用の前に「農業地域除外申請」を村長に行い、農業委員会の意見を聞き、問題がない場合は県に農振地域除外申請を行うことになつていて。県が許可を出さない場合は、自分の土地でも住宅等を建設することができない。ある方が、新築したいと思いつく前に申請をしたが何の返事もない。申請をしている土地の周りには以前から住宅や2～3年前に新築された家もあるが、なぜ自分の土地に家が建てられないのかと言つている。また、ある方は農振地域除外申請をしているが、1年近く許可が下りないと言つている。2件とも農業委員会では問題ない

答 県の同意が得られないことについては、平成21年度の農地法等の改正により、転用許可基準が厳しく規制され、その要件を満たしていないければ、農振除外についても同意が得られないことに起因している。これまで同意が得られた地域については申請者は無論のこと、村並びに村農業委員会においても、現行基準に苦慮している。同問題は本村に限らず他市町村でも同様であり、総合事務局へ基準の緩和見直し、解釈等について協議しているところなど伺つていて。ご質問の2点については、転用許可基

問 準の要件に当てはまらないとの県側の見解により、同意が得られていないが、今後も同様の案件が出てくる事が予想され、県農林水産部との行政懇談会での要請、農業委員会、他市町村とも連携し対処していく。

答 答弁では法律が改正されたことにより、農振地域除外が難しくなったといふことだつたが、本府の職員から北部の担当者へ問い合わせたところ、1件目は村への申請が平成22年7月1日で県の申請受付は平成23年3月11日、村への申請が平成23年8カ月かかっている。その北部の担当者は農地転用が確実か確認書を伊江村に送つたことだつた。2件目の売店については、この文書に対する回答はまだ届いていないとのこと。この文書に対する回答はまだ届いていないとのことだつた。2件目の売店について、村への申請は平成23年4月20日、この申請書が県に届いたのが平成24年3月1日。

問 北部の担当者は文書を送つても回答がなく、うつておいたところ、2件目についている間に遅くなつたと確認している。

答 申請の日付に開きが出来なければ前に進まないといふ言い分だ。特に2件目については、村に申請してから県に届くまで11カ月もかかる。これでは村民から不信感を持たれる。法律の改正による遅れだけではないと思う。売店については農地転用許可基準の手引きの中で、第1種農地の許可の中で、例外的に

問 申請の日付に開きが出来てしまつたことについて、こちらの手続きの悪さがあつたことも確かだと思う。ただ、両件について転用の許可基準をみたしていらないという状況だつたと認識している。2件目の売店についても、村内全域がほぼ1種農地という状況をしている形からすれば、すんなり通るかどうかはつきりお答えできない。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能だと思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

問 伊江村の防空壕や洞窟の中には戦中戦後の混亂の中で放置された人骨や、骨壺が多数ある。戦後70年近くにもなりながら放置されているのを見ると、主を探すのは至難なことだと思う。戦争のために先祖の墓から持ち出され放置された骨壺や人骨などで、戦後処理ということが対応できないか。また、防空壕や洞窟の座標軸による図面化及び説明文の資料化はできないか、村当局の見解をお聞きしたい。

答 資料化については、村の建物標軸による図面化及び説明文の資料化については、村教育委員会発刊の「伊江島の戦中・戦後体験記録」に資料が掲載されており、資料化は予算も伴うことから考えていない。

問 設課にも測量できる人もいるので、あまりお金をかけず位置図ができるいかと、写真一枚で。コンサルに頼むとかではなく、建設課の職員で十分対応可能と思う。また、教育委員会が作った本は、民間の一般人の聞き取り調査はあまりない気がする。

問 伊江村の戦略作物について、見る直してはどうか。伊江村においては多岐にわたる作物が生産されている。しかし、これという作物がないような気がする。需要がありながら価格等の面で外国産等に押されている作物の見直しも必要だと思う。生産者を中心とした検討会に行政が助言、協力していくような体制を作らなければ、伊江村の農業の発展はないような気がするが、村当局の考えをお聞きしたい。

議決の結果

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
報告第1号	西小学校校舎(西幼稚園園舎)改築・併行防音工事(電気設備)の専決処分の報告について	村長	2012.3.7	報告
報告第2号	平成24年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	//	//	報告
議案第1号	平成24年度伊江村一般会計予算	//	2012.3.15	原案可決
議案第2号	平成24年度伊江村診療所特別会計予算	//	//	原案可決
議案第3号	平成24年度伊江村国民健康保険特別会計予算	//	//	原案可決
議案第4号	平成24年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	//	//	原案可決
議案第5号	平成24年度伊江村水道事業会計予算	//	//	原案可決
議案第6号	平成24年度伊江村船舶運航事業会計予算	//	//	原案可決
議案第7号	伊江村税条例の一部を改正する条例	//	2012.3.7	原案可決
議案第8号	伊江村火災予防条例の一部を改正する条例	//	//	原案可決
議案第9号	沖縄県介護保険広域連合規約の変更に関する協議について	//	//	原案可決
議案第10号	伊江村体験交流施設の設置及び管理運営に関する条例	//	//	原案可決
議案第11号	伊江村体験交流施設の指定管理者の指定について	//	//	原案可決
議案第12号	伊江島蒸留所施設等の設置及び管理運営に関する条例	//	//	原案可決
議案第13号	伊江島蒸留所施設等の指定管理者の指定について	//	2012.3.8	原案可決
議案第14号	平成23年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	//	//	原案可決
議案第15号	平成23年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	//	//	原案可決
議案第16号	平成23年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	//	//	原案可決
議案第17号	ウカバ溜池導水路改修工事請負契約について	//	2012.3.15	原案可決

議決の結果

議案番号	件名	提案者	議決月日	議決結果
報告第3号	堆肥製造場建設工事(建築工事)の専決処分の報告について	村長	2012.3.28	報告
報告第4号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	//	//	報告
議案第18号	平成23年度伊江村一般会計補正予算(第8号)	村長	2012.3.28	原案可決
議案第19号	平成23年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)	//	//	原案可決
議案第20号	平成23年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	//	//	原案可決
議案第21号	平成23年度伊江村水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	原案可決
議案第22号	平成23年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	//	//	原案可決

船舶運賃の児童生徒、高齢者無料化について

公営企業課長／無料化にすることは運航事業計画を申請する中で厳しいものがある
二〇〇〇年、うつり原由直

問 平成22年ごろより廻泊船の高騰による燃料類の販売価格が上昇し先の見えない高騰に不安を感じた。そのような状況もと、24年間据え置かれた船舶運賃も平成21年3月より値上げ改正されたが、その後燃料の高騰もみられず現在、比較的安定している状況だと思う。平成22年度決算を見ると、約1億7千万円の経常利益があり、村民への還元策として児童生徒、高齢者への運賃無料化を検討すべきと思うが、村当局の見解をお聞きしたい。

不當な差別的取り扱いをするものと解釈されるので、沖縄総合事務局から運航事業計画は認められないと考える。幸いなことに平成24年度4月から、沖縄県が沖縄振興一括交付金の活用による離島住民交通コスト負担軽減事業（仮称）を実施する。この事業に参加する本村に住民登録をしている人全てを対象にして、現在の一般の大入往復運賃が400円にされる予定である。当然、小人や身体に障がいのある人及び高校生も大幅に割り引きされる。

以前あつた児童手当の廃止等を相殺すると、およそとんとんではないかと思う。また、後期高齢者医療制度の見直しも自己負担の増額が検討されている中、船賃の無料化を村独自の政策として検討してはどうか。

披露宴を開催できない要因の一つではないかと思う。昨年、村内での婚姻届が16件あり、そのほとんどが村外での結婚披露宴になつてゐる。参加者の負担、村内の経済効果等を考えると、祝儀の見直しが必要かと思うが、村当局の見解をお聞きしたい。

問 結婚披露宴の準備品等を
村内でそろえれば、商業
サービス業等の活性化にもつなが
ると思うが。

新生活運動の 一部見直しについて

村長／時代に即した内容に向けて
協議をしていき、取り組んでいきたい

問 私たちの生活から見栄や
無駄をなくそうとの目的

で設置された運動で、村民に広く

ングを挙げてていることや、披露宴
開催可能な施設もあることを考え
ると、村内での披露宴開催希望者



新生活運動の 一部見直しについて

村長／時代に即した内容に向けて
協議をしていき、取り組んでいきたい